



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 惠本 司
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 白畑 康
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	13,047	2.5	799	96.8	1,098	69.3	766	76.9
2021年3月期第1四半期	12,734	10.5	406	37.9	648	29.5	433	33.5

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 0百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 1,650百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	54.68	
2021年3月期第1四半期	30.51	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	95,808	67,756	70.7	4,835.87
2021年3月期	97,392	68,462	70.3	4,886.11

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 67,756百万円 2021年3月期 68,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				50.00	50.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	12.6	1,400	61.6	1,700	59.1	1,200	67.7	85.64
通期	57,000	4.0	1,800	4.7	2,300	2.1	1,500	8.7	107.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	15,325,642 株	2021年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期1Q	1,314,395 株	2021年3月期	1,314,072 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	14,011,404 株	2021年3月期1Q	14,198,934 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言等が出されたことにより、経済活動の制限は継続し、個人消費も弱い動きとなっており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは第1次日甜グループ中期経営計画の達成に向けて取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比2.5%増の13,047百万円となり、経常利益は、砂糖事業の増益等により前年同期比69.3%増の1,098百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比76.9%増の766百万円となりました。

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用しております。「収益認識会計基準」等の適用に関する詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載の通りであります。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

新型コロナウイルス感染症の影響により、菓子向け等の業務用の砂糖需要は依然として落ち込んでおりますが、飲料向け等の需要に若干の回復がみられ、砂糖セグメントの売上高は前年同期比1.3%増の8,719百万円となり、セグメント利益は、引き続き経費削減に取り組んだこともあり、369百万円(前年同期は0百万円のセグメント損失)となりました。

<食品事業>

食品セグメントは、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要により伸長した家庭用イーストの売上が一段落し、売上高は前年同期比1.4%増の565百万円となりましたが、セグメント利益は前年同期比48.4%減の6百万円となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、配合飼料の販売量の増加により、前年同期比6.6%増の2,216百万円となり、セグメント利益は、前年同期比23.9%増の121百万円となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、そ菜用紙筒(移植栽培用育苗鉢)の販売数量の増加等により、前年同期比2.5%増の895百万円となりましたが、セグメント利益は、ビート移植機の販売減により、前年同期比17.5%減の93百万円となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、ほぼ前年同期並みの378百万円となり、セグメント利益は、経費削減により、前年同期比8.1%増の229百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業の売上高は、石油類の販売価格上昇とスポーツレジャー施設の売上増加により、前年同期比13.1%増の273百万円となり、営業損失は、損失幅が減少し、61百万円(前年同期は74百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,584百万円減の95,808百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末比352百万円減の47,361百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の下落により前連結会計年度末比1,231百万円減の48,446百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比879百万円減の28,051百万円で、このうち流動負債は、主に

短期借入金の減少により前連結会計年度末比 545 百万円減の 17,724 百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比 333 百万円減の 10,326 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末比 705 百万円減の 67,756 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,881	5,486
受取手形及び売掛金	7,611	6,881
有価証券	3,500	6,500
商品及び製品	26,643	21,292
仕掛品	1,696	394
原材料及び貯蔵品	2,583	3,192
その他	1,800	3,614
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	47,714	47,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,667	11,605
その他（純額）	12,625	12,541
有形固定資産合計	24,293	24,147
無形固定資産		
	344	333
投資その他の資産		
投資有価証券	23,231	22,151
退職給付に係る資産	1,363	1,370
その他	471	468
貸倒引当金	△26	△23
投資その他の資産合計	25,040	23,965
固定資産合計	49,677	48,446
資産合計	97,392	95,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,114	1,438
短期借入金	11,662	9,661
未払法人税等	335	327
その他	5,157	6,297
流動負債合計	18,270	17,724
固定負債		
長期借入金	233	202
役員退職慰労引当金	22	19
退職給付に係る負債	4,614	4,653
その他	5,790	5,451
固定負債合計	10,660	10,326
負債合計	28,930	28,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,418	8,418
利益剰余金	43,663	43,724
自己株式	△2,630	△2,631
株主資本合計	57,730	57,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,389	9,617
繰延ヘッジ損益	3	1
退職給付に係る調整累計額	338	346
その他の包括利益累計額合計	10,731	9,965
純資産合計	68,462	67,756
負債純資産合計	97,392	95,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	12,734	13,047
売上原価	8,983	9,250
売上総利益	3,751	3,797
販売費及び一般管理費		
販売費	2,588	2,206
一般管理費	756	791
販売費及び一般管理費合計	3,344	2,997
営業利益	406	799
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	290	308
持分法による投資利益	3	11
その他	12	24
営業外収益合計	306	345
営業外費用		
支払利息	36	31
固定資産処分損	13	10
その他	15	5
営業外費用合計	64	47
経常利益	648	1,098
特別損失		
固定資産処分損	7	7
その他	0	-
特別損失合計	8	7
税金等調整前四半期純利益	640	1,090
法人税等	207	324
四半期純利益	433	766
親会社株主に帰属する四半期純利益	433	766

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	433	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,205	△771
繰延ヘッジ損益	0	△2
退職給付に係る調整額	10	7
その他の包括利益合計	1,216	△766
四半期包括利益	1,650	△0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,650	△0
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当社及び連結子会社は、商品又は製品の販売において、従来は出荷時に収益を認識しておりましたが、顧客に納品した時点で収益を認識する方法に変更しております。また販売奨励金・リベート等の顧客に支払われる対価は、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,003百万円減少し、売上原価は485百万円減少し、販売費及び一般管理費は475百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ43百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,605	557	2,077	873	377	12,492	241	12,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	5	4	0	29	80	1,181	1,261
計	8,647	562	2,082	874	407	12,573	1,422	13,996
セグメント利益 又は損失(△)	△0	12	98	113	212	437	△74	362

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	437
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△74
セグメント間取引消去	43
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	406

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,719	565	2,216	895	378	12,774	273	13,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	5	3	13	31	104	1,277	1,382
計	8,769	570	2,219	909	409	12,878	1,551	14,430
セグメント利益 又は損失(△)	369	6	121	93	229	821	△61	760

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	821
「その他」の区分の利益又は損失（△）	△61
セグメント間取引消去	39
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	799

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「砂糖」の売上高は815百万円減少、セグメント利益は30百万円減少し、「食品」の売上高は15百万円減少、セグメント利益は4百万円減少し、「飼料」の売上高は150百万円減少、セグメント利益は5百万円減少し、「農業資材」の売上高は9百万円減少、セグメント利益は1百万円減少し、「その他」の売上高は12百万円減少しております。